

震災後論

【4】

福島県では昨年、各地の
首長選で現職候補の落選が
相次ぎました。東日本大震
災から月日が流れる中、な
ぜ復興が進まないのか、東
京電力福島第一原発の事故
を再検証する時期ではない
かと住民が思い始めたから
でしょう。一方で政府や官
僚、東京電力は誰も責任を
取っていない。沿岸部のが
れきの光景が、戦後の焼け
野原と重なります。

震災時に私は菅直人内閣
で内閣官房参与を務めてい
ました。当時、官邸には原
発事故が起きたとき、どん

な問題が発
生し、その
後どう展開
すればいい
のかを正確

に想像できる人間はいなか
った。原子力安全委員会の

もおかしいと思いました。
科学の進歩が人間を幸福に
し、自然も克服できると信
じてきた。だが自然の力は
人智を超えていた。今回の
原発事故は「文明災」です。

岩手県宮古市の田老地区
り、被害を免れたところが
どう感じたでしょうか。「街
道をゆく」の中で宮城県で

もう金をばらまいて政治に
文句を言わせないという発
想から脱却すべきです。
作家の司馬遼太郎さんが
生きていたら今回の震災を

近代科学の限界露呈

松本健一さん

忘れてならぬ歴史検証



評論家の松本健一さん

まつもと・けん
いち 46年前に「評
生まれ。著書に「
生北一輝」など
伝

班目春樹委員長(当時)も専
門は原子力工学でした。3
号機が水素爆発した後、菅
首相は同心円状に20m圏内

の風に乗ると約50m先に落
ちることを知ったからで
「ト」が防げなかったのは、
近代科学の限界を露呈した
れている。だから東京電
力は岸壁を削って福島第一
の古い歴史の記憶を地殻の
中から掘り起こした。震災

自然の脅威を「コンクリー
ト」が防げなかったのは、
近代科学の限界を露呈した
れている。だから東京電
力は岸壁を削って福島第一
の古い歴史の記憶を地殻の
中から掘り起こした。震災

伝承の研究は日本の国土・
心を抱き、青森県の三内丸
山遺跡では稲作以前の東北
の古い歴史の記憶を地殻の
中から掘り起こした。震災

は伊達政宗の治水事業に関
心を抱き、青森県の三内丸
山遺跡では稲作以前の東北
の古い歴史の記憶を地殻の
中から掘り起こした。震災

からの避難、20m以上30m
圏内の屋内退避を指示しま
した。班目委員長の助言だ
とはありませんでした。

ドバイザーの役職にすぎな
い私の意見が反映されるこ
とはありませんでした。

会議で「堤防をさらに高く
しよう」という意見が出た
基本法を成立させ、原発も
然と共生する人々の営みの
在り方がみえてきます。

3・11まで、多くの人は
のは、学者や官僚が現場を
再稼働しようとしている。

3・11まで、多くの人は
のは、学者や官僚が現場を
再稼働しようとしている。